

# 追加在庫

A5052B-H112

360 φ造

A5056B-H112

360 φ造

A5083B-O

360 φ造

A2017B-T4

360 φ造

A6061B-T6

360 φ造

常時在庫品揃え  
寸法切・定尺共

## 大河内金属株式会社

尼崎事業所 尼崎市鶴町7番25号  
〒660 TEL(06)6411-6852 番  
-0092 FAX(06)6411-6241 番

神奈川営業所 横浜市中区山下町194  
外丸ビル9F  
〒231 TEL(045)663-3611 番  
-0023 FAX(045)663-2770 番

# 日刊メタルレポート

発行所  
株式会社 日刊金属新聞社  
本社 大阪市城東区蒲生1-3-7  
大電話 (06) 6932-5443 代表  
北陸支社 富山市曙町1-30-508号内  
電話 (076) 444-6836  
購読料 半カ年44,100円(前納) 3カ月22,050円



橋本健一郎氏

## アルミ スクラップを除き減少 輸出は全てが減少する 国内での発生難で

橋本金属 橋本健一郎氏リポート②

料も米国価格下げパニックには勝てず、二、三三四ドルと二五〇ドル強暴落の前半締めとなった。後半 米鉱工業生産や耐久財受注額の好調や八月のHSBC中国製造業購買担当指数の改善、注目のジャクソンホールでのバーナキFRB議長講演が九月のFOMCでの金融緩和に含みを持たせたものであった。などプラス材料もあったが、米国価格下げに伴うファンダメンタルズの悪化には勝てず上値は削られ九月一日現在、LME(現物後場) 二、四二四ドルの上昇スタートとなった。

### 【前月の経済指標】

- ◆日本自動車工業会によると自動車生産台数は前月比六・五%増の七九万〇、三二五万台であった。
- ◆日本自動車販売協会連合会によると、自動車販売台数(軽除く)は前月比一〇・三%減の二一万六、五一〇台。
- ◆三カ月間の自動車生産計画は昨年対比七・五%増の二五・五万五千台 (二面へ続く)

## スレア今年に入り四〜九倍に

### ジスプロシウム急騰―中国

三日付の中国紙、新京報によると、市場調査会社「生意宝」は二日、「レアアース八種価格表」を公表し、今年に入り、八月末までに各種レアアース価格が四〜九倍の水準に上昇したことを明らかにした。

それによると、ジスプロシウム価格は一月四日の一トン当たり一、九〇〇元から、八月三十日の一五五、五〇〇元と、八・一六倍の水準に上昇。ジスプロシウム合金は同一四五五元から一、二三〇万円(八・四八倍)に、酸化ジスプロシウムは一、四四〇元から一、二〇〇元(七・七八倍)に、それぞれ上昇した。

一方、プラセオジウムは二九万円から一三〇万円(四・四八倍)に、酸化プラセオジウムは二三五、〇〇〇元から九五万円(四・〇四倍)に上昇。ネオジウムは三四万円から一六〇万円(四・七二倍)、酸化ネオジウムは二六万五、〇〇〇元から一二五万円(四・七二倍)、プラセオジウム・ネオジウム合金は二八万二、〇〇〇元から一四〇万円(四・九六倍)に上昇した。

# 圧延品生産計量 昨年に近い水準まで回復

## アルミニウム二次合金生産三・九%減 対比 昨年

【前月の国内指標】

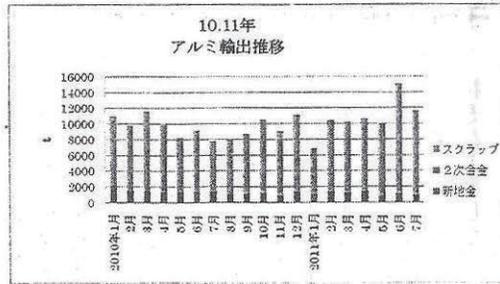
日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前月比〇・六%減の一七万三、六七五t(昨年対比四・二%減)。

◆新設住宅着工戸数  
国土交通省によると、新設住宅着工戸数は前月比(季節調整済み)一六・九%増(昨年対比二二・二%増)の八万三、三九八戸であった。

### 貿易関連指標

財務省貿易統計によれば輸出はアルミニウム新地金が前月比七・六%減の一四六t、二次合金が一三・一%減の八三八t、スクラップが二四%減の一万〇、六三一t。

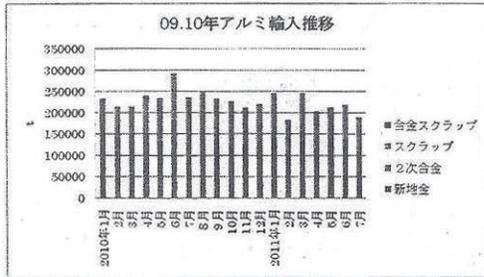
	5月	6月	7月
輸出			
新地金	208 t	158 t	146 t
前月比	+4%	-24%	-7.6%
二次合金	628 t	964 t	838 t
前月比	-48.1%	+53.5%	-13.1%
スクラップ	9180 t	14001 t	10631 t
前月比	-1.5%	+52.5%	-24%
輸出推移			



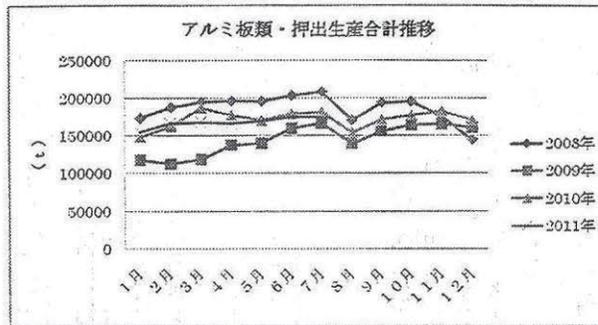
出典 財務省貿易統計

輸入は新地金が前月比一九・一%減の一・二万二、六八五t、二次合金が三・一%減の七万四、〇二一t、スクラップが六・七%増の六〇一t、合金スクラップは六・六%減の二、八七五t。

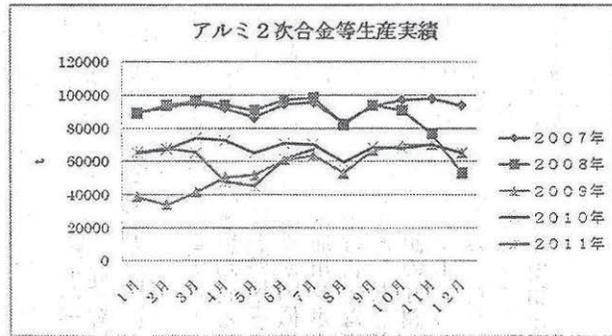
輸入	5月	6月	7月
新地金	13万4567 t	13万9360 t	11万2685 t
前月比	+11.6%	+3.6%	-19.1%
二次合金	7万4891 t	7万6365 t	7万4021 t
前月比	-3.8%	+2%	-3.1%
スクラップ	797 t	563 t	601 t
前月比	-9.6%	-29.4%	+6.7%
合金スクラップ	3607 t	3078 t	2875 t
前月比	-16.6%	-14.7%	-6.6%
輸入推移			



出典 財務省貿易統計



出典 日本アルミニウム協会



出典 日本アルミニウム協会

日本アルミニウム協会発表のアルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績は前月比九・四%増の六万七、六四五tであった(昨年対比三・九%減)。(六面に続く)

# 原料の発生難、需要減の低位安定

## 自動車の動向が暗い影落とす

(二面より続く)

【見通し】

今月は自動車販売の伸び悩みによる生産・在庫調整が感じられる月となった。

自動車生産は前月比六・五%増の七九万〇、三二五台と回復基調にあり、前年比九%減と前月の一四%減からも右肩上がりの改善へ入る。

しかし今回も国内自動車販売台数は二二万六、五一〇台で前月比二〇%減と伸び悩み、前年比でも二五・五%減と振るわず。

自動車関連のアルミニウム二次合金生産は自動車生産の上昇に伴い、前月比九・六%増の六万七、六四五ト。昨年対比は三・九%減。

仮設住宅による復興需要が見込める圧延・押出品生産数は前月比〇・六%減。昨年対比四・二%減とほぼ昨年程度まで回復。

新設住宅着工数は季節調整前月比一七%増の八万三、三九八戸。前年比で二二%増と大幅改善。

輸入塊は上海シグマが七月末現在で二、四八〇ドル(マイナス七〇)、ロシア塊は二、三二〇ドル(マイナス八〇)と下落している。輸入はスクラップ以外は合金スクラップ含

# 南部のレアアース王国で生産停止

## 中国・江西省ガソ州政府が公表

五日付の中国紙、新京報によると、江西省ガソ州政府はこのほど、「二〇一一年タンクステン、レアアース(希土類)採掘総量管理指標に関する通達」を公表し、市内の鉱山での生産停止を命じた。

同市はジスプロシウムなど重レアアースが豊富で、中国全体の埋蔵量三〇%以上を占め、「レアアース王国」とも呼ばれている。

ただ、江西省など南部の山地では中小メーカーが乱立。中国国務院は業界再編を促すため、今年五月、一〜二年以内に上位三企業の

めて減少。

輸出は国内の発生難からスクラップの二四%減を初めに全品種減少となった。

LME価格について、米国価格下げに伴うファンダメンタルズの悪化からの金融緩和もしくは期待からコモディティ(商品)自体への資金流入が期待できるが、あくまで過剰流動性資金移動による相場形成であり、根本的な改善は見込まず産業金属であるアルミニウムにおいては投機的要素が低く、また九月のFOMCの内容によっては更なるファンダメンタルズの悪化は避けられず二、三五〇〜二、五〇〇ドルを予測。

アルミニウム原料需要・価格に関して、前月に続き最大の需要家である自動車メーカーの自動車生産台数は前年比九%減まで回復しているにも関わらず、八月の販売台数が前年比で二五%減と二カ月連続伸び悩み。頼みの輸出も減少していることから需給は発生難、需要減の低位安定。

LME価格では前月初めとほぼ変わらず、需要も減少していることから、八月後半価格から据え置きを予測。

市場占有率を八〇%以上に高める目標を打ち出した。生産停止は市場再編準備の一環とみられている。

# アルミ・銅 高値買受

## 柳金属産業株式会社

TEL 077-2770135 五八二

LME非鉄在庫(9月2日発表分)

	入庫	出庫	9月1日		増減
			現在	増減	
銅	1,750	300	466,075	+1,450	
銅	GAW	0	0	±0	
	GAC	1,750	300	466,075	+1,450
すず	0	215	22,430	-215	
鉛	3,425	175	321,500	+3,250	
鉛	0	1,725	854,125	-1,725	
鉛	0	4,400	4,628,125	-4,400	
鉛	0	0	130,580	±0	
鉛	0	1,212	103,290	-1,212	
鉛	220	320	152,000	-100	

(単位:トン)